

平成23年 9月 5日

新座市大和田小学校保護者 様

新座市教育委員会教育長
金子 廣志
新座市立大和田小学校長
三好 節

安心・安全な学校給食への取組

福島第一原子力発電所の事故以来、放射能物質に汚染された地域が明らかになるにつれ、それらの地域からの農産物、魚、原乳等を避ける傾向もあります。

学校や教育委員会にも、食材の産地に関する問合せが寄せられています。

そこで、2学期以降の学校給食について、下記のとおり取り組むとともに、今後も監視体制を整え、安心・安全な給食を提供してまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

記

1 牛肉については、当分の間使用を中止いたします

本校では、牛肉を1学期に使用しておりませんが、2学期以降も牛肉の安全性が確認されるまで、牛肉の使用は控えます。

2 主な食材産地をお知らせします

学校給食の使用食材の産地を明らかにします。学校や市のホームページ、給食だよりで公表します。

3 食材の放射能検査を実施します

新座市で収穫されたホウレンソウ、大根の放射性物質の検査を実施してきましたが、結果は不検出でした。9月6日には、小松菜の放射性物質の検査を実施する予定です。今後も県と連携して放射性物質の検査を実施してまいります。

4 野菜の洗浄については、基準に則して実施していきます

新座市教育委員会では、「学校給食調理業務等作業基準」を設け、作業の手順を示していますが、野菜類は野菜に付着した泥を落とすために流水で洗い、その後調理室にて、流水で3回以上洗浄し調理しております。

5 食材の購入にあたっては、安全・安心・新鮮の観点から選定していきます

学校給食の食材については、これまでどおり市内で栽培された野菜や、埼玉県産の牛乳を使用する等、地産地消を積極的に進めていきます。